



慶應義塾大学ビジネス・スクール

旭化成工業の多角化戦略

I 脱繊維企業—旭化成工業

1. 旭化成工業の概要
2. 繊維業界の動向—下がる一方の地位
3. 繊維業界の最高峰へ
4. 新規事業進出の背景—野口コンツェルン路線

II 旭化成工業の多角化の実態

1. 旭化成の誕生と戦後の苦難
2. カシミロン—合繊の女王
3. 石油化学への進出
4. 宮崎ゼミナール—三種の新規スタート
5. 三種の新規事業—ナイロン、合成ゴム、住宅
6. 三種の新規に続くもの—膜からエレクトロニクスまで

III 多角化成功の要因

1. 新規事業の展開—住宅事業を中心として
2. 多角化のポイント—人材

IV 終わりのなき多角化—未来へ向けての挑戦

本ケースは、朝日新聞社の加納隆氏が作成したものである。慶應義塾大学ビジネス・スクールは、同氏の厚意ある同意を得て、これをクラス討議の資料として使用する。

ケースは、経営管理の適切または不適切な処理を例示するものではない。このケースの著作権は加納隆氏に所属する。〔昭和62年7月〕